

松前町

No.81

2014年2月1日発行

愛媛県伊予郡
松前町議会

議会だより

12月定例会



2P 12月定例議会

97億円の使い道は!?
平成24年度決算認定

6P 委員会ニュース ホッケー場整備始まる ほか

10P

一般
質問

- ・「いきいき百歳体操」の実施を
- ・指定管理者制度で住民サービスへの影響は
- ・ごみ袋の無料配布を
- ・中学卒業まで医療無料化実現を
- ・補助金・助成金申請書類の確認と承認方法は

18P まちの話題 新成人に聞く

花の出荷に追われる大溝の栗原夫妻（右と中央 紹介は裏表紙に）

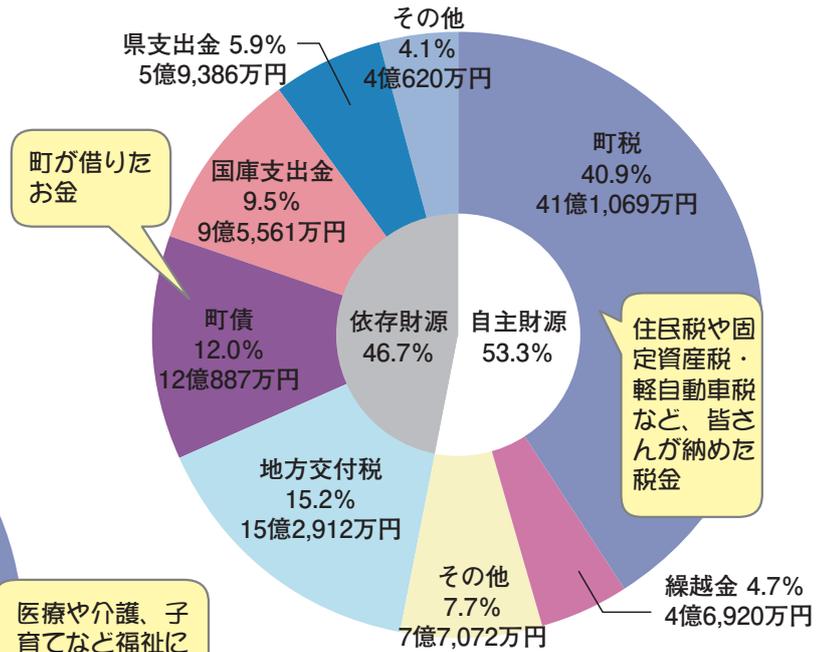
平成24年度 決算認定

一般会計

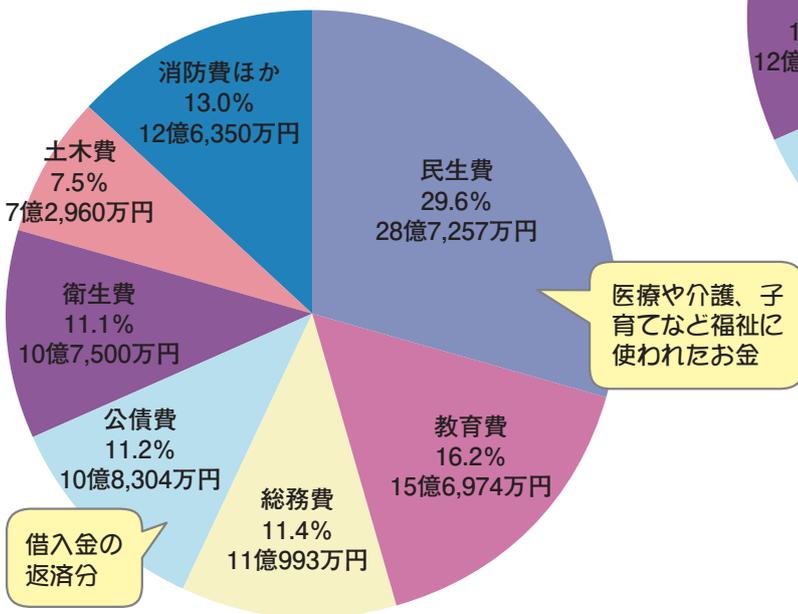
97億円の使い道は!?

今回の決算から昨年9月議会で新設した予算決算常任委員会で総括審議し、更に分野別に設置した総務産建・文教厚生の中分科会において審査した。厳正な審査の末、平成24年度松前町歳入歳出、水道事業会計の決算を認定した。

歳入 100億4,430万円



歳出 97億341万円



平成24年度 町の財政成績表

- 財政力指数 前年比 0.728 (-0.19)
- 経常収支率 88.0% (+3.9)
- 実質公債費比率 12.7% (-0.5)

※ 1万円未満は切捨てて表示しているため、合計が一致しない場合があります。

そのほかの会計別決算状況

(単位：円)

会計名	歳入	歳出
国民健康保険特別会計	35億3,904万	33億7,384万
公共下水道事業特別会計	5億4,770万	5億3,391万
介護保険特別会計	24億1,232万	23億7,402万
後期高齢者医療保険特別会計	3億8,599万	3億7,282万
水道事業会計	収入	支出
収益的収支	3億4,813万	3億3,992万
資本的収支	2億6,747万	3億6,638万

【財政力指数とは】

指数が高いほど自主財源の割合が高く、財政に余裕がある。

【経常収支率とは】

財政の弾力性を示す指標。低いほど政策に使える財源が多い。

【実質公債費比率とは】

収入に対する負債返済の割合。

こんな事業が行われた

(主な事業)

※青字は新規事業
黒字は継続事業

■総務費

- 交通安全対策（交通事故を減らすまちづくりプロジェクト）
- 防災移動系携帯無線機購入

79万円
74万円

■民生費

- 松前町保育対策等補助金
- 認定こども園運営委託
- こんにちは赤ちゃん事業

171万円
454万円
617万円

■衛生費

- 健康づくり策定事業
- 住宅用太陽光発電システム設置費補助事業

194万円
1,967万円

■農林水産業費

- 水産業振興育成対策事業

937万円

■土木費

- 北黒田海岸整備事業
- 公園管理工事事業
- 浸水対策事業

1,313万円
744万円
1,887万円

■教育費

- 教材整備計画事業（各小学校：液晶プロジェクター一式）
- 学校施設耐震等事業（校舎の耐震補強など）
- 学校施設耐震等事業（体育館などの耐震補強）

506万円
8億1,322万円
8,765万円

税などの徴収状況

(単位：円)

	収入済額	滞納額	徴収率
町 税	15億7,904万	4,580万	96.6%
うち法人	3億4,328万	297万	98.8%
固定資産税	22億9,608万	4,586万	97.7%
軽自動車税	6,438万	350万	94.1%
国民健康保険税	6億8,840万	1億1,289万	84.3%
介護保険料	4億4,259万	431万	98.7%

年々、税の滞納額は減っている。住民の納税意識の高揚のため、広報活動を強めたり、預金や物品の差し押さえなども実施して徴収率のアップにつなげている。

ただ、税金以外の保険料や住宅使用料・水道料・保育料などの公的納付金などに滞納が目立ち、その徴収対策に苦慮し、不納欠損にせざるを得ないケースが生じてきている。

住民負担の公平性を保つため 不納欠損額を減らす努力を

Q & A

決算審査の 質疑から

歳入歳出全般の審査の主な内容

Q 滞納対策は。

A 所管課ごとに様々な取組みがなされている。特に税務課では対予算200%以上の収納実績となっている。

督促状・催告書の送付、財産調査などを行い、それでも徴収できない時に不納欠損としている。

ただ、滞納金の種類も様々で全庁的に統一することは困難であるが、課による違いもあるので早急に検討し、具体的対策を講じる必要がある。

Q 大規模地震災害対策基金とは。

A 毎年度末に各種団体などからの寄付と一般財源3000万円を用途に積み立てている。積立額は、その年度の財政状況によるため変動はある。

目標額は3億円。

水道事業会計決算審査の内容

Q 配水及び給水費で予算を超えた支出がある理由は。

A メーターの取換えに伴う修繕費である。在庫品を使用し、ため現金の動きはないが、経費は使用したという企業会計処理の考え方で執行率が100%を超えた。



安心で安全な水を家庭へ（北伊予浄水場）

Q 水道事業会計の今後は。

A 水道水は、1mあたりの供給単価が97円57銭に対し給水原価が101円45銭のため売るたびに損となり実際には赤字である。

今までは留保資金でやってきたが限界もあり、今後は料金改定も必要になってくる。

◎総務産建分科会では

Q 土地開発基金からの繰入金
を6500万円予定していた
が収入がゼロとなっている理
由は。

A 北黒田海岸整備事業を翌年に繰越したため、基金からの繰り入れを行わなかった。

Q 入札の落札率については。

A 建設工事は、最低制限価格があるため落札率に下限があるが、業務委託や物品購入については、下限がないので落札率が低い場合がある。予算計上に際しては、過去の実績を参考にしつつ改善できる点は改善していきたい。

Q 国体準備室の報奨金は。

A ホッケー・ボクシング教室をそれぞれ1回開催した際の講師謝金である。

Q ホッケー場整備事業計画は。

A 平成24年度は基本計画の策定と用地買収並びに実施設計を行った。なお、用地買収は、全ての地権者との契約が終了。来年度から2年間で整備を行いその後プレ大会実施の予定。



✓ ホッケー教室で汗を (松前公園アリーナ)

Q 下水道料金の滞納対策は。

A 5年で不納欠損している。下水道の場合は排水を止めることができないので対策が難しい。

◎文教厚生分科会では

Q 保育料の滞納対策は。

A すでに保育所を退所している方もいて難しいが、催告書の送付、財産確認なども行い、今後も個別面談も含め法的措置ができるかどうか検討したい。

Q IC旅券端末機保守委託は。

A 県の旅券窓口と接続している旅券交付用のパソコンの保守料である。
平成24年度の交付は、528名で、1日当たり2・25人に交付したことになる。



Q 中学校備品購入費の予備費充用の理由は。

A 当初予定の備品購入が終了したため予算残を修正予算で減額した。しかし、1月中旬に新年度の特別支援学級の設置が決定したため、支援に必要な備品を購入するため予備費を充てた。

Q 後期高齢者医療保険料の不納欠損について。

A 国保と同様に滞納対策に取り組んだが、2年間の時効により処分した。処分者には、保険を利用するとき保険給付に制限がかかる。

各委員からの指摘事項

- 水産業振興育成事業の入札について、より透明性を持たすため同様の事業があるときは町の施設で入札を行うべきである。

- 以前に策定した景観計画は委員会協議中だったり、雨水対策事業の江川遊水地のポンプ設計なども県との協議で止まっているが、進捗状況や結果などは逐次報告し情報の共有をはかるべきである。

- 保育料は平成12年から24年までで、1000万円以上の滞納がある。保証人に連絡するなど徴収努力をし、処分を含めた内規を定め、きっちり対応すべきである。

- 色々な補助事業について支出金額は資料で分かるが、内容や効果が明確に判断しにくい場合があるので、提出資料にもっと工夫が必要である。

予算など

委員会
ニュース

予算決算

平成29年えひめ国体へ
ホッケー場整備始まる

総務産建分科会審査

問 ホッケー場整備の内容は。

答 既存の水道管が口径25mm程度で国体時に水量、水圧の低下が懸念されるため、100mmに整備しようとするもの。今回は全体計画の約半分の区間に相当する工事費を予算計上

し、残りの区間は次年度に予算計上し工事を行う。

今年度の工事では、国費が2分の1・残りの90%に町債が充当できる。その償還には交付税措置がある。来年度実施する事業は、国費6分の3・県費6分の2・町費6分の1となる。



ホッケー場水道管整備工事場所



早く整備が望まれる町道西古泉筒井線

問 町道西古泉筒井線の道路整備事業の内容と計画は。

答 現在詳細設計を行っており、今回、国の交付金の内示があった。内容は、土地購入費と補償費であるが、状況によっては、繰越事業となる。今後の計画は平成25年12月から地権者に説明し、今年2月ごろから土地の評価と

境界の立会いを行う。3月ごろまでに物件を調査し、4月以降、用地や補償の交渉を行う予定である。

問 総務管理費委託料の内訳は。

答 庁舎裏の駐車場用地購入の不動産鑑定料と反訴の弁護士料である。

問 水道事業会計で漏水対策の費用と内容は。

答 900万円計上し、給水区間全体の漏水音圧調査を行い、多量漏水箇所を早期発見、修繕を行う。

さらに、給水区域内を3ブロックに分け配水量、有収水量、洗管を算定し、有収率の低いブロックから漏水対策を実施する。

来年度以降は、口径の細かい配水管の漏水調査をし、有収率90%を上回る率を目指す。

平成25年度 一般・特別会計補正

北伊予中学校の 耐震工事の本格化

問 保育所費貸金の減額の理由は。

答 当初、入所児童数を358人見込んでいたが、実際は338人で20人減少したことにより、臨時保育士の必要数が減ったため。

問 心身障がい者福祉事業増額の内容は。

答 対象者の診療回数が増と診療内容の変化によるもの。財源は国4分の2・県4分の1・町4分の1である。

問 相談支援事業委託料の減額の理由は。

答 障がい者などに対する相談事業を実施する予定だったが、受入れ体制が確立できず辞退の申し出があったため。

問 介護保険特別会計の内容は。

答 平成25年度に2名退職するため、新たに雇用する臨時職員の賃金補正である。

文教厚生分科会審査

問 学校営繕費の委託料変更の内容は。

答 北伊予中学校の技術教棟の耐震工事設計を平成23年度に実施したが、年数が経過したため入札に備え最新の工事単価に見直す必要が生じたため委託する。



耐震工事が始まる北伊予中学校

平成25年度 一般会計補正予算概要

■予算総額

(単位：円)

区分	補正前	補正額	補正後	増減率
本年度	92億4,393万	1億8,059万	94億2,452万	2.0%
前年度	92億8,315万	3億7,759万	96億6,074万	4.1%
前年度対比	99.6%	47.8%	97.6%	

■松前町一般会計補正予算（第3号）主要事業

(単位：円)

科目	項目	金額
民生費	心身障がい者福祉事業	3,358万
	重度心身障がい者医療費助成事業	946万
土木費	町道等維持事業（東56号線 他）	310万
	幹線町道整備事業	1億7,175万
教育費	国体施設整備事業	1,084万

委員会 ニュース

総務 産業建設

どうなる!? TPP交渉

● TPP交渉からの撤退を求める請願書

◎ 請願者

国民の食糧と健康を守る愛媛連絡会

会長 村田 武
紹介議員 稲田 孔

【論点】

本請願は、TPPに関する情報が国会にも国民にも公表されていないこ

と、TPPに参加すること

で農林水産業に大きな打撃があること、食の安全基準が守られないなどの理由でTPP交渉の内容を明らかにすると共に撤退を求める内容である。

なく他分野も協議しており全体的な視点で考えるべきである。
(反対多数で不採択)

情報とは当然公開すべきであるが国益全体を考慮して現在交渉中であり、直ちに撤退するのは時期尚早である。また、TPPでは、農林水産業だけで

⑧0 反訴の提起について
【要旨】

町道の中に民有地があり、その民有地の所有者から境界確認を求める訴えがなされていることに

【内容】
本来、道路工事をする場合は、用地買収をし、登記後工事を行うが、当案件は、昭和56年当時において、用地買収後、工事をを行ったが、登記をしていなかったことが原因となっている。

【意見】
司法の判断による解決は適切であるが、町には財産を守る義務があり、町の不手際で町民に訴えられるような事務処理には疑問が残る。
今後、同じようなことがないように手続きを明確にするとともに、チェック体制を確立することが必要である。
(全員一致で可決)

対し、松前町として、土地買収の基準となる境界

100万円を見込んでおり、4月に詳細を保護者に周知する。
【意見】
入院医療費助成の対象者が拡大されることは歓迎すべきことである。
(全員一致で可決)

文教厚生

● 「特例水準の解消」の名による年金削減の中止を求める請願

◎ 請願者

全日本年金者組合松前支部 松前支部長

大西 信吾

紹介議員 稲田 孔

【論点】

従来、物価スライドにより年金額を下げるべき

入院医療費中学生まで拡大

⑥6 松前町乳幼児及び児童医療費助成条例

【要旨】

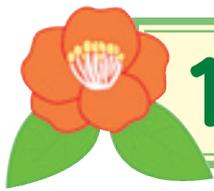
子育て支援の充実を図るため、入院医療費の助成対象を中学生までに拡大する。

【内容】

今回の条例改正により約860人が対象となる。医療費助成の増額は約



子供たちの健やかな成長に町も支援します



12月定例議会

提出議案及び請願への各議員 賛否表

※ △議長 ○賛成 ●反対 「欠」欠席

議員名		稲田	稲田	加藤	寺下	八束	藤岡	村井	早瀬	松本	澤田	岡井	伊賀上	三好	木下
		孔	輝宏	博徳	武	正	緑	慶太郎	武臣	一二美	登代一	馨一郎	明治	勝利	淳
議案番号など・議案名															
請2	T P P 交渉からの撤退を求める請願書	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	△	●
請3	「特例水準の解消」の名による年金削減の中止を求める請願	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	△	●
52	平成24年度松前町歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○
53	平成24年度松前町水道事業会計決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○
66	松前町乳幼児及び児童医療費助成条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○
67	松前町町営住宅管理条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○
68	松前町下水道条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○
69	松前町公共下水道事業受益者負担に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○
70	松前町水道事業給水条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○
71	平成25年度松前町一般会計補正予算（第3号）について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○
72	平成25年度松前町国民健康保険特別会計補正予算（第3号）について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○
73	平成25年度松前町後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○
74	平成25年度松前町介護保険特別会計補正予算（第3号）について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○
75	平成25年度松前町水道事業会計補正予算（第2号）について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○
76	愛媛県市町総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び組合規約の変更について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○
77	愛媛県市町総合事務組合の共同処理事務構成団体から脱退に伴う財産処分について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○
78	愛媛県市町総合事務組合からの構成団体の脱退に伴う財産処分について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○
79	北伊予中学校（普通・特別教棟等）耐震補強工事（建築主体工事）請負契約の締結について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○
80	反訴の提起について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○

5 議員が登壇

◆赤字項目は、本文で紹介しています。

松本 一二美 議員 (11ページ)

- ◆「いきいき百歳体操」の実施を
- ◆町ホームページに「こころの体温計」の掲載を
- ◆ジェネリック医薬品の幅広い利用を
- ◆農業振興の27号計画の取組みは

藤岡 緑 議員 (12ページ)

- ◆指定管理者制度で住民サービスへの影響は
- ◆住民ニーズに即した「まさきふれあい学園」を
- ◆児童虐待予防のためには

村井 慶太郎 議員 (13ページ)

- ◆町民に優しい政策としてごみ袋の無料配布を
- ◆街路灯LED化の成果と今後の対応は
- ◆町ホームページのリニューアルを
- ◆土地開発公社の解散を

稲田 孔 議員 (14ページ)

- ◆中学卒業まで通院も含めた医療無料化実現を
- ◆農業守る立場で積極的に意見を言うべきだ
- ◆TPPへの参加がもたらす国民生活への影響に対し、町の見解は

加藤 博徳 議員 (15ページ)

- ◆補助金・助成金申請書類の確認と承認方法は
- ◆予防接種などによる副作用疾患の発生状況とその確認は

- ◆ 一般質問とは・・・議員が町の行政全般について質問し、町長や部長などが答弁するものです。
- ◆ 議員一人あたりの発言時間は45分です。
- ◆ 登壇は、通告書(質問内容を要約した書類)の提出順に行われます。
- ◆ 議会の会議録が庁舎1階ロビーの情報公開コーナーにあります。詳しい内容がご覧いただけます。(12月議会分は2月末から)

いっぱん
質問

町
政
を
問
う



松本 一二美 議員

「いきいき百歳体操」の実施を

町独自の介護予防体操を考案し、サポート体制を検討する

問

「いきいき百歳体操」は、重りを使った筋力運動の体操で筋力がつき、動きが楽になることで、転倒予防や寝たきりを防ぐ。

サロン事業と同様、

自宅から高齢者自身が進んで参加できる場所での体力維持の取組みが必要と考える。健康支援と医療費軽減につながる「いきいき百歳体操」の実施の考えは。

保健福祉部長

町独自の介護予防体操を考案し、高齢者が身近な地域で気楽に参加でき、体操が継続できるようなサポート体制づくりについても検討していく。

町ホームページに「まごころの体温計」の掲載を

「まごころの耳」をリンクする予定

問

ストレスは大きな問題であり、不登校・引きこもり・体調不良もその要因とされている。自分や家族の現状を認識し、対処方法として町のホームページに「まごころの体温計」の掲載を提案するが考えは。

保健福祉部長

厚労省が心の病気の自己チェックやメール相談などができる働く人のメンタルヘルス・ポータルサイト「まごころの耳」を開設しており、町のホームページにリンクする予定。

元プロ野球選手の今岡さんの
熱血指導（野球教室）



月第九演奏会で
満席の文化センター月



藤岡 緑 議員

指定管理者制度で住民サービスへの影響は

制度導入後、現在まで大きな問題はない

問

住民が幅広く利用する体育館や文化センターを民間に管理運営させる指定管理者制度の導入後、約9か月になるが住民サービスの低下や問題点などはないのか。

教育長

昨年4月より民間企業のノウハウを活用し住民サービスの向上を図るためこの制度を導入した。スタートと同時に施設の責任者と毎月連絡会を実施し情報交換、日程調などを展開し好評を得ている。今後とも指導監督は善点があれば指導、助言を続けていく。

住民ニーズに即した「まさきふれあい学園」を

生涯学習活動の後押しとなる講座をめざす

問

まさきふれあい学園は、多様化する住民のニーズに十分に対応していないのでは。今後の町の取組みを問う。

教育長

住民の生涯学習の推進を図るため平成8年度よりまさきふれあい学園を始めた。その後、時々の住民ニーズに対応するため年度ごとの見直しを行い講座の改廃また新設を経て現在18講座になっている。マンネリ化や受講生の減少が著しいものは費用対効果を考え廃止、人気のある講座は定数を増やしている。今後とも新たな講座の企画など関係者の意見を聞きながら後押しする。



分別を徹底してごみ袋の無料化を



村井 慶太郎 議員

町民に優しい政策としてごみ袋の無料配布を

現状では有料袋制を継続する

問

4月から消費税が上がるが、景気回復したといっても地方はまだまだで、消費増税は本

町の町民にとつてかなり厳しい状況だ。

4月から消費税が上がるが、景気回復したといっても地方はまだまだで、消費増税は本町の町民にとつてかなり厳しい状況だ。

町の町民にとつてかなり厳しい状況だ。

町長

可燃物の減量、資源物

の有料袋制について考え

町長

可燃物の減量、資源物

の有料袋制について考え

町長

可燃物の減量、資源物

の有料袋制について考え

街路灯LED化の成果と今後の対応は

安価・長寿命となるため推進する

問

街路灯のLED化が進んできているが、現在の進捗率と電気代の対比を伺う。

産業建設部長

LEDは蛍光灯に比べ寿命が約7倍も長くなるので、今後もLEDへの取りかえを進める。また、街路灯を新たに設置する場合は、その電気代は地区に負担をお願いしているため、今後もその方向でいきたい。

また、今後街路灯の電気代の町負担の考えを伺う。

産業建設部長

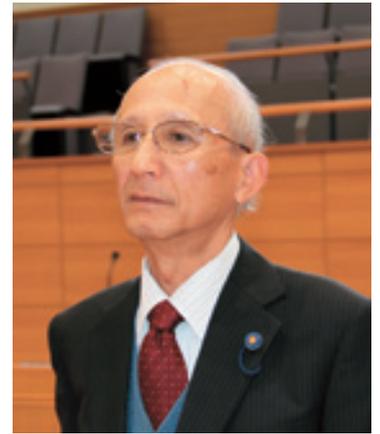
LEDは蛍光灯に比べ寿命が約7倍も長くなるので、今後もLEDへの取りかえを進める。また、街路灯を新たに設置する場合は、その電気代は地区に負担をお願いしているため、今後もその方向でいきたい。

また、今後街路灯の電気代の町負担の考えを伺う。

LEDは蛍光灯に比べ寿命が約7倍も長くなるので、今後もLEDへの取りかえを進める。また、街路灯を新たに設置する場合は、その電気代は地区に負担をお願いしているため、今後もその方向でいきたい。



松前町が土地を確保し、野菜づくりなどを行いたい町民に貸し出している「まさき農園」



稲田 孔 議員

中学卒業まで通院も含めた医療無料化実現を

さらなる拡大は当面は難しい

問

これまで小学校卒業までの入院代が無料であった町の制度を中学校卒業までに拡大する

止まらず、通院の無料化にまで拡大してはどうか。その拡大に要する費用はいくらか。

療費無料化にかかる費用は、昨年の実績からの試算では年間約5千万円が必要。厳しい財政状況の折、さらなる拡大については、当面は難しいと

考えたことは評価し歓迎する。しかし、これに

保健福祉部長

中学校3年生までの医

考えている。

農業守る立場で積極的に意見を言うべきだ

全国町村会を通じて言う

問

安倍政権は、コメの生産調整（減反）の廃止方針を打ち出し、減反補助金も来年度から半減し30年度から全廃するという。これでは

速しかなない安倍政権の新たな農業政策やTPP参加の方向に対して積極的に意見を提示し改善を求めていくべきでないか。

町長 24年度の減反補助金は町全体で6千万円余であった。農業を阻害する政府の政策に対しては町単独ではなく全国町村会を通じて改善を求めていく。

農業の衰退が加速する。減反補助金の半減、全廃で当町の農業はどのような影響を受けると推測しているか。

町が実施しているコミュニティ農園（まさき農園）を他の地域にも広げてはどうか。

まさき農園については、現在応募が殺到している状況ではないので、現段階では新たな農地確保は考えていない。

町は農業の衰退を加



町の補助金により整備された中川原地区の遊具と鶴吉広場



加藤 博徳 議員

補助金・助成金申請書類の確認と承認方法は

要綱に従って町が決定する

問

申請書類の中で生年月日などが間違いないか確認できる方法、ISO的なシステムが要綱の中にあるのか。

また、不正な申請が発覚した場合は、どのような対応をとるのか。

副町長

申請書類を審査し、町が交付を決定する。町が必要書類を審査し、後になって不正が発覚した場合には、要綱により申請者に返還を命ずる。町が交付する補助金は、あくまでも交付に必要な部分だけをチェックして、その目的に沿うような形でお金を出していく。

必要となる要件や基準、手続きを町の要綱などに従って、担当する課における要綱で行う。

予防接種などによる副作用疾患の発生状況とその確認は

副作用の発生は無いためアンケートは考えていない

問

子宮頸がんワクチンやインフルエンザ予防接種などによる副作用疾患の発生状況とその確認方法は。

また、早期の発見と治療というのが大切だが、全戸アンケートの考えは。

健康課長

子宮頸がん予防ワクチンの接種について、ごくまれに、接種後非常に重い副作用が発生した案件があったため、厚生労働省から自治体に対し、昨年6月に積極的勧奨を差し控

えるように通知があった。町内での子宮頸がんワクチンとインフルエンザワクチンの接種による副作用の発生はない。全戸アンケートは、考えていない。各種予防事業に取り組み

条例改正

67 松前町営住宅管理条例

条例

法律名の改称、適用対象の拡大があったため町営住宅の入居資格を改正

(改正点は赤字)

◎法律名(改正後)

「配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律」

◎適用対象(改正後)

現行に③④を加える。

③ 生活の本拠を共にする交際相手

④ 生活の本拠を共にする交際相手から暴力を受けた後に関係を解消し引続き暴力を受けた元交際相手

68 松前町下水道条例

消費税法の一部改正に伴い使用料の基本料金、超過料金を**税抜き料金**として今後の消費税改正に対応できるように

うにするための改正。
また、使用料の端数処理を10円未満切捨てから1円未満切捨てにする。

69 松前町公共下水道事業受益者負担に関する条例

条例

◎延滞金の利率の見直し

①納期限後1か月

現行 7・25%

← 改正後 3・0%

②右記以外

現行 14・5%

← 改正後 9・25%

70 松前町水道事業給水条例

◎消費税法の一部が改正されることに伴い水道の使用料の基本料金(超過料金)、メーター

の使用料、加入金について現在は税込み料金となっているが**税抜き料金**とし、今後の税率変更に対応できるようにする。

76 愛媛県市町総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び組合規約の変更について

その他の事項

水道の基本料金(家庭用)
例 10㎡まで
現行 630円
← 改正後 600円 +消費税



① 内山衛生事務組合の解散に伴い平成26年3月31日をもって同組合を県の事務組合から脱退させるもの。

② 県の事務組合が共同処理する事務のうち交通災害共済について伊予市を脱退させるもの。

77 愛媛県市町総合事務組合の共同処理事務構成団体に伴う財産処分について

◎伊予市が交通災害共済に係る事務を脱退することに伴いその事務に係る伊予市の財産については平成26年4月1日において県の事務組合に帰属させる。

78 愛媛県市町総合事務組合からの構成団体の脱退に伴う財産処分について

◎内山衛生事務組合が県の事務組合を脱退することに伴い内山衛生事務組合の財産については平成26年4月1日において県の事務組合に帰属させるもの。ただし、退職手当負担金は除く。

・請負金額 1億8009万円
・工事請負業者 松山市畑寺町123番地1
株式会社 成武建設
代表取締役 石橋 忠典

79 北伊予中学校耐震補強工事請負契約の締結

議会議決の日
平成26年9月30日

四国地区町村議会議員研修に参加

- ・11月5日
- ・松前町総合文化センター
- ・13時30分より3時間研修を受ける。

【前半】

講師・伊藤敦夫氏
国政の動きを政治評論家の独自の分析と発想でレクチャーを受ける。

【後半】

講師・西本真寿美氏
ラジオ体操を元に、手足を動かしながら「働き盛りの健康法」を学ぶ。



町民の声

町政に望む

S 生

定年後、松前に帰ってきて、地域の生活にまだ戸惑いや分からないことも多い。子供のころと比べると町も随分変わったと思うが、昔の松前らしさは残っている。穏やかで温かい義理・人情はそのままだと感じることもあり、いつまでも残したいものである。この良さを

を残しつつ、今後の町政に何を望むか。

一つは、内外に発信する松前の良さとして「福祉の町」であると思う。以前は「教育の町」を標榜していたはずだが、高齢化・少子化や人口減少の時代を迎えて、住民すべてが「住みよい町だ」と感じることは一番の課題ではないか。観光資源の乏しい当町にとって、観光で人を呼び込むことは難しい。住民にやさしい施策を講じて、いつまでもこの町で暮らせるように

うしつかり応援する町でありたい。いろいろ施策も実施していると思うが、さらなる工夫を検討していただきたい。

第二は「各地域の特徴を生かしたバランスのとれた施策」を実施することである。合併を避けたのは賢明だったと思うが、小さな行政単位にもかかわらず、地域格差がまだあるように感じる。この点で地域代表でもある議員の方々の活発な議論と行動に期待したい。最後にいま望むこと

は、議会中継をライブだけでなく、事後視聴できるような早急に改善していただきたいことである。町政や議会の議論に関心を持つ町民も多いことと



お知らせとお詫び

★皆さんから要望の多かった議会のライブ中継を3年前から始め、今は更に事後視聴ができるようになっています。議会としてぜひ実施できるようにと来年度にむけて調整しておりますので、もう少しお待ち下さい。

★12月議会最終日に、本会議の開会が遅れたことで、お待ち下さっていた傍聴者の皆さんや住民の方々に對し、大変ご迷惑やご心配をおかけしましたことを深くお詫び申し上げます。

傍聴席

議会改革の前進を

塩屋 木村 博

今年最後の第4回定例議会を傍聴して思いついたことを申し上げます、

前回の9月議会で議会改革が一步前進。従来の4

厚生常任委員会とし、それぞれ7名の議員構成。新しく予算決算常任委員会を、議長を除く全議員

で通年的に開催し、町の事業内容を把握して理解を深めるといふ改革を、全議員で視察研修しながら決定されたと聞く。

今議会で自らが決定した事項に異議を唱えて、議会開会が遅れたよう

ですが、不足する事項や問題があるならば、議員自らが「切磋琢磨」して、

改革にはバックギアがない、という気持で、どの町の議会にも引けを取ることはない松前町議会になることを希望します。

パソコンから傍聴

議会ライブを視聴して

西古泉 N・I

初めてパソコンの町議会ライブ画面を何とか出して視聴したので、感じたことを述べたい。

先ず平日の昼間は傍聴やライブ視聴ができない人が多く、好きな時間に

それができないか。

演壇が主であるが時に議場全体を撮り議員皆で真剣に取り組んでいるところを見たい。

また、一方的になりがちが飛び交うと思われる委員会も中継してほしい。

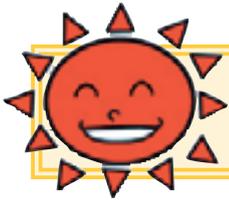
パソコンで町議会が視聴できることを、多くの人がアピールすべきです。

傍聴のご案内

住所・氏名・年齢を届けるだけで、どなたでも自由になれます。

松前町議会は、本会議と各常任委員会の傍聴席を設け一般公開しています。

(次回は3月上旬中旬の予定です)



松前町で生きる & みんなで支える



松前町農業経営者協議会長など
農業振興のために活躍する
栗原 和裕さん

39歳で脱サラ、20年後の現在は
460坪のビニールハウスで、花を栽培。ガーデンシクラメンを6000鉢栽培して、毎年新品種に意欲的に取り組む努力家です。無・減農薬エコファーマーの認定取得をして、地球環境にやさしい農業に取り組まれています。
奥様は、いろいろな花で素敵な寄せ植えを作っています。
お二人の息はピッタリ♡
冬の定番ビオラ（すみれ）が次の出荷（出荷）を待っています。
*前向きさと実直な人柄が
夢を実現していく原動力に*



生まれ育った故郷で、花栽培に挑戦



新成人302人中、188人が式典に参加



【成人式インタビュー】1月12日

①これからの夢
②選挙権を得て、政治・議会への関心度

まちの話題
新成人に聞く

- ①★看護師・教師・ジャーナリスト・宇宙飛行士になりたい。
 - ★松前を高齢者に優しい町にしたい。
 - ★まずは就職。結婚はまだ先。
 - ★社会人として会社のために頑張りたい。
 - ★特にない。
 - ②★選挙には必ず行く。
 - ★政治について、もっと勉強したい。
 - ★愛国心に欠け、個人主義が横行しているのが問題。
 - ★選挙に行かず政治に文句を言う資格はない。
 - ★議会といっても、誰に投票していいかわからない。
 - ★あまり興味がない。
 - ★面倒くさい。レジャー優先かな。
- 取材にご協力いただき、ありがとうございます。

この広報紙は、資源保護と環境に配慮して大豆油インキ、再生紙で作成しています。

編集後記

昨年の夏は、酷暑・台風・大雨で、稲作などは高温障害、ウンカも発生し被害も少なくありませんでした。今年も温暖化の進行が心配されます。

9月議会で委員会を見直したので、編集協議をさらに充実していかなければなりません。今後も、皆さまに十分に伝わるわかりやすい編集に努力していきます。議会だよりの運営に、議員全体で全力を傾けてまいります。

(稲田 孔)

議会広報常任委員会
委員長 藤岡 緑
副委員長 松本一二美
委員 八東 正
委員 寺下 武
委員 加藤 博徳
委員 稲田 輝宏
委員 稲田 孔